A2

無料版・有料版・組織契約の違い

料金と「入力データの扱い」の差。仕事で有料版を使うべき理由

更新日：2026-11-07（2026年11月時点の情報）｜HUMAC 伊藤晴通

たとえ：無料版は「試食」、有料版は「業務用の仕入れ契約」

味は同じでも、量・品質・取引条件（データの扱い）が違う。専門職が無料版だけで業務をするのは、試食品で弁当を作って売るようなもの。

3つの段階の違い

観点	無料版	有料版（個人）	組織契約（Team／Business／Workspace）
使える量	すぐ上限に当たる	実務で困らない程度	同左＋利用者ごとに管理
AIの賢さ	軽量なモデルが中心	最上位モデル	同左
長い資料	途中で止まりやすい	長いマニュアルや制度の文書を丸ごと読める	同左
調査機能（Deep Research）	ごく少数回／使えない	実用的に使える	同左
エージェント機能	ほぼ使えない	使える	同左
入力データの学習利用	初期設定で学習対象のものがある	設定でオフにできる	原則として学習に使わない契約
管理・監査	なし	なし	管理者が利用状況を管理できる

料金の目安（2026年11月時点・月額）

サービス	無料	個人の有料版	組織向け
ChatGPT	0円	Go 約1,200円（広告あり・Deep Research不可） Plus 約3,000円 Pro 約15,000円〜（100・200・500ドルの3段）	Business 約3,800円〜／人
Gemini／Gemini Notebook	0円	Google AI Plus 725〜1,450円（公式ページで表示が異なる） Google AI Pro 2,900円（Gemini 4 Argon が使える） Ultra 14,500円〜	Google Workspace のプランに含まれる
Claude	0円	Pro 約3,000円（$20） Max 約15,000円（$100・Proの5倍） Ultra 約30,000円（$200・Proの10倍）	Team 約3,000円〜／席（年払い）

ドル建ては為替で変動。価格・プラン名は頻繁に変わるため、契約前に各社の公式ページで確認すること（Gemini・Claude の数字は2026年11月7日に公式ページで確認。Google AI Plus は、Gemini のページでは725円、Google One のページでは1,450円と表示が異なる。ChatGPT は公式が取得できず、二次情報）。

2026年9月末から出た「常時稼働型のエージェント」は、上位プランに含まれる：ChatGPT の dots は Pro・Business Premium、Gemini Spark は Google AI Ultra 向け、Claude のクラウド実行は Pro 以上（→ A3）。

おすすめの始め方

1. **2人で1ヶ月試す**
   個人の有料版を2人が別々のサービスで契約
2. **同じ業務で比べる**
   市場調査・長い資料の読み込みなど、実際の業務で1回ずつ
3. **効果を測る**
   かかった時間・品質・使いやすさを記録
4. **組織契約へ**
   企業秘密や重い個人情報（赤）を扱う前に、ルールと組織契約を整える

「安いプラン」の落とし穴

ChatGPT Go のような低価格プランは、入力データが初期設定で学習対象であり、調査機能やエージェントも使えない。業務で使うなら、データの扱いを確認できるプランを選ぶ。

出典（2026年9月確認）

- Google Gemini サブスクリプション (https://gemini.google/subscriptions/)
- Claude 料金プラン (https://claude.com/pricing)
- ChatGPTの有料プラン比較（2026年9月） (https://tech-camp.in/ai-navi/chatgpt-paid/)（二次情報）